

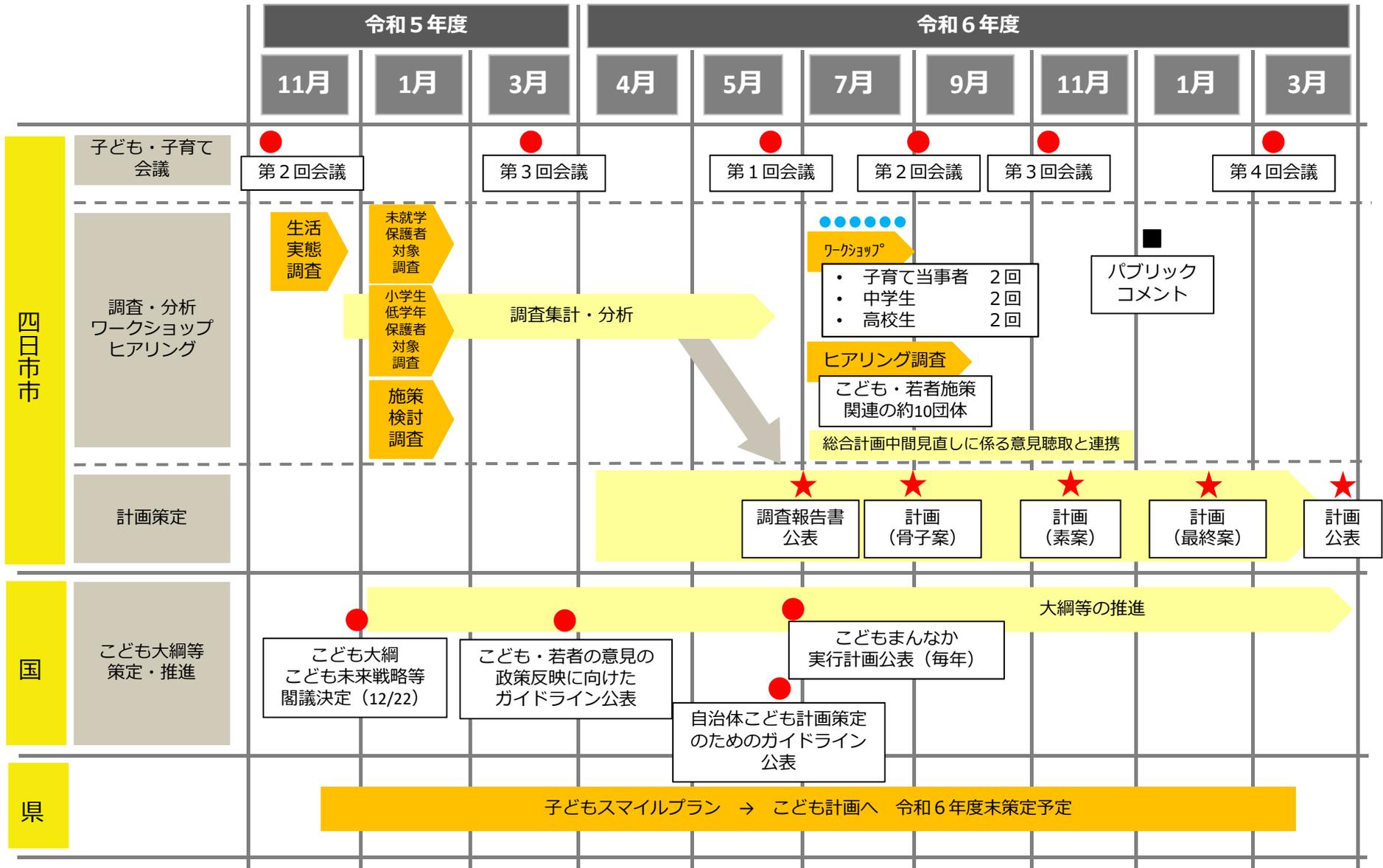
「四日市市こども計画」の策定について

< 事 項 >

- ・ ワークショップ及びヒアリングの報告について（速報版）
- ・ 「四日市市こども計画（骨子）」及び計画の構成について
- ・ 第3期四日市市子ども・子育て支援事業計画の
量の見込みと提供体制の確保について

1. 四日市市子ども計画策定のスケジュール（令和6年7月末時点）

令和5年度	国が閣議決定した「子ども大綱」の内容をみながら、「四日市市子ども計画」策定に向けてアンケート調査を実施した
令和6年度	令和5年度の調査結果を踏まえ、ワークショップやヒアリング等の調査を実施しながら、計画を作成し、年度内に策定する



ワークショップの実施状況

対象者	開催日時	募集方法	募集人数	参加者数 (欠席者数)	場所	テーマ
子育て当事者①	7/12(Fri) 10:00~12:00	公募	16人 4人×4グループ	15人 (1人)	橋北交流会館3階 (託児有)	共働き・子育てに必要な支援策 <ul style="list-style-type: none"> 四日市の子育て環境の好きなおところ、不便なおところ、不安なことなどについて 理想のまちのイメージについて 理想のまちの実現に必要な取組・市に実施してほしいことなどについて
子育て当事者②	7/27(Sat) 10:00~12:00			10人 (1人)	総合会館8階 (託児有)	子育て当事者①と同じ内容で実施しつつ、①でいただいた意見の深堀り
高校生①	7/14(Sun) 10:00~12:00	学校にて ポスター掲示 及びWE B 配信	16人 4人×4グループ	12人 (1人)	じばさん4階 研修室1	市長に実現してほしいこども・若者の政策 <ul style="list-style-type: none"> 四日市市の好きなおところ、不便なおところ、不満なおところ、不安なことなどについて 理想のまちのイメージについて 理想のまちの実現に必要な取組・市に実施してほしいことなどについて
高校生②	7/28(Sun) 14:00~16:00			14人 (1人)		高校生①と同じ内容で実施しつつ、①でいただいた意見の深堀り
中学生①	7/28(Sun) 10:00~12:00	学校にて チラシ配布	16人 4人×4グループ	23人 (1人)	じばさん4階 研修室1	市長に実現してほしいこども・若者の政策 <ul style="list-style-type: none"> 四日市市の好きなおところ、不便なおところ、不満なおところ、不安なことなどについて 理想のまちのイメージについて 理想のまちの実現に必要な取組・市に実施してほしいことなどについて
中学生②	8/2(Fri) 10:00~12:00			23人 (予定)		中学生①と同じ内容で実施しつつ、①でいただいた意見の深堀り
その他	市総合計画の中間見直しにおける市民の意見聴取の機会を活用し、若者の意見聴取を検討					

※市が聴きたいこと（意見・要望）を聞くことに限定せず、対象者の声を聴きながら進める

・こども計画策定に向けたワークショップ（速報版）②

WSの流れ	スケジュール Total:120min	実施内容
趣旨説明	15min	<ul style="list-style-type: none"> グラウンドルールの共有など 計画策定の目的や現状について説明
アイスブレイク等	10min	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介（ニックネーム、四日市市の好きなところなど）
グループワーク①	35min	<ul style="list-style-type: none"> 四日市の好きなところ 四日市の不満・不便なところ 現状把握
休憩	5min	休憩
グループワーク②	40min	<ul style="list-style-type: none"> 「こんなまちになってほしい」実現に必要な施策などを考える アイデア出し
発表	12min	<ul style="list-style-type: none"> 発表（各グループ3分程度）
振り返り	3min	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りとアンケート

①趣旨説明



②アイスブレイク



③グループワーク①



アイデア出し

⑥振り返り（アンケート）



⑤発表



④グループワーク②



・こども計画策定に向けたワークショップの実施結果について②【子育て当事者の意見（抜粋）】（速報版）

・子育て環境としての四日市市の好きなところ、不満なところ

カテゴリー	好きなところ	理由
人	みんなゆる～い 若者が多い	やさしい 買い物や街中で若者によく会う
助成	不妊治療助成	-
支援センター	支援センターが充実している	市民以外も使えるし、設備も充実している こっこ保育園の支援センターに助けられています
その他	旬の食材が手に入れやすい 図書館がサイコー	季節を感じられる なんでもリクエストを聞いてくれる（マジ意外）。よそから取り寄せてくれる。毎月、一人一冊リクエストを聞いてくれるので、家族分読みたい本をリクエストしている。
カテゴリー	不満なところ	理由
産後ケア	子育て支援スタッフ 産後ケアの期間がほぼ生後半年から1年までで短い	今の子育てと違っていたりするので、交流したりブラッシュアップ・スキルアップして欲しい！！ 育児が一番つらいときは、生後すぐから、少し落ち着いてイヤイヤ期、と段階があると思うので
子育て講座	教養に触れる機会が少ない	講演会など、現状はメリーゴーランド（本屋）が独走している印象
保育サービス	保育園入りづらい ファミサポがすぐ使えないから、困っているときにつらい 学童保育の選択肢が少ない	保育園に入れなかったので すぐ使いたいときのサポートはいい（シッター？） 小学校区の学童以外の学童についての情報が少なく、民間の学童保育が充実してほしい。
遊び場	図書館ほしい！ 日曜日に遊ぶところがない	こもの図書館くらい。こども本の森中之島 -
公園	入園後のこどもの遊べる場所があまりない 子ども用のプレイパーク（屋内少） 小さい子向けの遊具を充実させてほしい 公園が少ない 体験型アミューズメントが少ない	プレイパークとかあったらいいな Tokyoplaypark嶋村、プレイパークせたがやなど。愛知県児童総合センター。こもの図書館 南部丘陵公園の遊具が古い 他県の公園に行くことが多いので、市内にももう少しあるとうれしい NPO法人・個人でしている人を探さない
助成	子どもが関係する手当や女性について、親の所得制限（高校の授業料など）をなくしてほしい	制限がある場合とない場合での差が大きすぎる

・こんなまちになってほしい

短期：保育の充実 長期：いろいろな機会、大人の意識改革
意見（グループ①） ワークショップをどんどんやって、四日市の人たちの意識を高めたい（当事者意識） 海と山があるので、週末自然学校を通して交流できる場 子どもに優しい人が増えてほしい！（困ってたらすぐ手を伸ばす）トルコ・台湾がすごい 安全に遊べる。健康に過ごせる。 天気に関係なく、子どもがのびのび安心して遊べる場所。親も安心して見守れる場所 子どもが色々な体験・経験ができるまち 子どもが大人になっても住みたいと思えるまち 自分のことを好きになれる子どもが増えてほしい。自信 子どもと少し離れて、父と母がホッとできるときがあるといいな 安心して働ける（子どもを預けられる）
意見（グループ②） 安心して育てられる 子どもを1人にしない 大人全体で見守る 親子での時間がとれる 子どもの（親の）居場所 親もホッとできる 平等な支援（子ども年齢・親の収入） かゆいところに手が届く（学童今日だけ）

・その実現のために必要なこと、市にやってほしいこと、自分たちがしたいこと

意見（グループ①） 大人の意識 子どもを大切に！！ ボランティアが下手 気持ちはあるけど、やり方 いろいろな機会の場 人とのつながり 保育充実 頼る場所が必要
意見（グループ②） 明石市おむつの無償宅配 小学校の給食費の無償化 夏休みの学童の給食 一時保育・ファミサポ事前準備・予約必要 → ウーバー的にサポートをたのめる 孤野町では、短期で機動的に預かってくれる おむつ無償券（孤野町） 親が病気のときに、子どもの面倒を見てくれる 地区の施設を子育て有効活用 ファミサポで余っている人、公民館に常駐・派遣。夏休みなど 横浜市放課後『はまっこ』、一時的にいられる場所 ← 稲沢にある

・こども計画策定に向けたワークショップの実施結果について③【高校生の意見（抜粋）】（速報版）

・四日市市の好きなところ、不満なところ

カテゴリー	好きなところ	理由
イベント	四日市まつり	お店もたくさんあって、お祭り感が味わえる
	イベントが多い	四日市まつりとか
公共施設	スポーツ設備が充実	環境が整っていてプレーがしやすい
	緑地公園	体育館がめっちゃキレイ
自然	自然いっぱい	四日市の山の方で楽しめる場所やイベントもあるから
	自然が多い	小学校に山があった
	自然がとにかく多い	川遊びや森遊びが豊富にできる
産業	燃えるゴミと燃えないゴミの区別がない	-
	工場夜景	きれい
	海が近い	魚や貝などの料理が多い
		コンビナートなどがあり、経済面も高い（全国3位）
高校いっぱい	四日市に高校が良く集っている	他校の子と交流や遊びに誘ったりしやすい
放課後	アピタにサイズがある！！	学生にやさしい！！ 財布にやさしい！！
交通	交通の便がいい	名古屋のライブとか、学校終わりでも行ける
	あすなろう鉄道	スケルトンのある車両があって鉄オタにはたまらない！！
	交通網がさかん	JR、近鉄、高速道路があり、移動がしやすいという理由
	住みやすい	都会に行きやすいから
Afte r 高校生	働く場所が多い	工場、コンビナートがあるから
カテゴリー	不満なところ	理由
にぎわい	J R 付近のシャッター街	暗く見える
	図書館	駅から少し離れている
	四日市駅の近くで遊ぶ場所がない	何する?!! ってる
	...	
	ゴミがよく落ちている	学校に投稿する際に通る四日市駅のロータリーに多い
商店街	四日市まつり以外で行ったことがない	
自然	ゴミ問題	きれいなまちにしたい！！
高校いっぱい	高校が多い	多い分競争が激しい
Afte r 高校生	大学が少ない	スポーツが強くなったら、中京とか県外に行かないといけな
	パチンコ少ない	大人の気分を味わいたい！
交通	あすなろう鉄道	せまい→（料金が）高い
	近鉄とJRの距離	不便
	1号線と23号線の渋滞	よく使うから移動時間がかかる
	バスを待つ場所がない	お店に入ったらお金がかかる

・こんなまちになってほしい

カテゴリー	意見
学生の居場所	学生にやさしいまち
子育て	学童や児童館をもっとつくって、子どもたちの居場所を設けてほしい
	子育てがしやすいまち
	公園や室内で遊べる施設がある
笑顔あふれる	子どもから大人までみんなが楽しめるようなまち
周りから訪問・注目	SNSで流行るまち
	美味しいグルメや映えスポット
	わざわざ遊びに行こうと思ってもらえるまち
誇れるまちに！！	四日市ぜんそくのイメージ → ちがうイメージを持たせる 今ある伝統を消さず発展させられるまち 自慢ができるまち 市民が四日市のことが好き
自然、きれい	自然をもっと使ったイベントやまつり
	自然でリフレッシュ
	自然の家をもっと使って、赤字を黒字にしたい！！
	自然がおおいまち
	自然を壊し続けるのではなく、残しつつ発展して行ってほしい ごみが無くて清潔なまち
安心、やすらぎ	他県から帰ってきたときに安心できるまち。落ち着くまち

・その実現のために必要なこと、市にやってほしいこと、自分たちがしたいこと

カテゴリー	意見
居場所	放課後、勉強したり遊んだりできるスペースをつくる
	四日市駅の近くにフリースペースをつくる → 学生の交流も広がる 室内で遊べる場所を作る（大トランポリンなど）
子育て	日曜日に仕事がある親のために、日曜保育とかを増やして親に負担をかけない
交流	子どもをもつ親たちが交流できる場所をつくる 今の年配の方と若者が交流して、お互いにどのようなまちにしたいかを話し合うこと
交通	バスは多いが、タクシーが少ないと感じるので、タクシーを増やす
イベント・自然	自然の施設。子供向けは多いが大人が全力で遊べる
	自然を生かした施設をつくる（アスレチックなど）
	今ある資金をもっと使って、イベントやまつりを増やして県外客をもてなす ゴミ拾いを大会形式のイベントにして、だれがやっても苦にならず楽しんでやる 自然を使って小中学生メインじゃなく、高校生メインのイベントを開く
グルメ	これっ！というグルメをつくり、広める

・こども計画策定に向けたヒアリング調査

ヒアリング調査の概要

令和5年度に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、具体的な施策を検討するためにヒアリング調査を実施する。調査対象団体は、「今後、充実させていきたい取組」の各項目から幅広く選定する。ヒアリングに当たっては、事前にヒアリングシートを送付し、こども・子育て支援に関する活動の現状・課題、新たなアイデアなどを聴取する。

調査対象団体等	実施時期	場所	調査先が該当する主な「今後、充実させていきたい取組」	特定テーマ（仮）
子どもアドボカシーセンター M I E	7月～9月	調査先の指定する場所もしくはオンライン	こどもの人権尊重と「こどもまんなか」社会の機運醸成	こどもの権利・社会的養護について こどもの意見聴き取りについて
四日市市社会福祉協議会 生活支援室			こどもの貧困対策	生活困窮家庭の現状について 貧困対策に必要な支援について
乳児院・児童養護施設			児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援	こどもの意見やニーズについて 施設への相談内容について
放課後等デイサービス事業者			障害児や医療的ケア児等への支援	こどもの意見やニーズについて 施設への相談内容について
民生委員・児童委員協議会連合会			地域子育て支援の充実	地域のこども・子育てに関する課題やニーズについて 地域の行事やイベントにおけるこどもの現状について
パパスマイル四日市			仕事と子育ての両立ができる職場環境の実現	共働き・共育てについて 父親の子育て参画について
こんにちは赤ちゃん訪問・ファミリー・サポート・センター事業者			安心して妊娠・出産、育児ができる環境の充実 地域子育て支援の充実	誕生前から就学前までの子育て当事者のニーズについて
子ども食堂等支援事業費補助金交付団体			多様なニーズに応じたこどもの居場所の創出	利用者の現状とニーズについて 居場所づくりに必要な要素について
スクールソーシャルワーカー スクールカウンセラー			多様なこどもに対する多様な学びの場の提供	学校におけるこどもの現状やニーズについて 学校と行政や地域の連携について
北勢地域若者サポートステーション			若者の生活基盤の安定と若者の出会いの機会の創出・結婚の機運醸成	こども・若者の施設の利用実態について 利用者からの相談や意見について

※調査対象団体等への調査依頼は順次進めるため、変更になる場合があります。

・こども計画策定に向けたヒアリング調査結果について（抜粋）（速報版）

・事前ヒアリングシートの内容

- ✓ 貴団体の活動内容をお聞かせください。
- ✓ 活動の中で、うまくいっていることや課題をお聞かせください。
- ✓ 日頃の業務・活動の中でこども・若者、子育て当事者等に接した際に、どのようなケースがよく見られますか。個人が特定できない範囲でお答えください。（よく見られる特徴、抱えている課題、相談内容など）
- ✓ 貴団体が感じられる「こども・子育てを取り巻く状況や課題」をお聞かせください。
- ✓ 課題の解決に向けて、市として取り組むべき施策のアイデア、連携・協働のイメージをお聞かせください。
- ✓ こども家庭庁が提唱する「こどもまんなか社会」（全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会）の実現に向けて、貴団体の展望や目指す姿をお聞かせください

日頃の業務・活動の中でこども・若者、子育て当事者等に接した際に、どのようなケースがよく見られますか。

他人と比較したり、自分は能力がないと自己否定をしたりなど、自己肯定感が低い。また、他人からどう見られるのかを非常に気にする。

集団で話を聴くことが苦手なこどもが増えており、個別に話をしないと理解できないこどもが増えている印象がある。また、周りを見ることができないこどもが増えたように感じる。集団遊びや五感を使った遊びをしていないのではないかな。

失敗を非常に気にする。失敗を肯定してもらった経験がないのではないかな。また、失敗をさせないように、先回りをする親が増えている。

イライラしているこどもが増えている。以前は学校で暴れることが多かったが、家で暴れるこどもが増えており、世間から見えにくくなっているのではないかな。

こども自身のごだわりが強くなっている。

ヤングケアラーと思われるこどもが見られるが、実態がみえない。

集団でいることにしんどさを感じるこどもや、未来の見通しが持てずに不安があるこどもが不登校になるケースがある。

コロナの影響が、集団活動の経験の少なさからくる一斉指示で動くことが苦手なこども、コミュニケーション不安からくる対人トラブルが増加したと感じる。

育休制度の変化や社会の流れに伴って、父親の育児参加率が上昇していると実感するが、父親がこどもにどう関わっていいか悩んだり、父と母での方針が異なりこどもが混乱したりするケースが増えているように感じる。

困り感、困り事を発信する力が弱い家庭があると感じる。

現状と課題

こどもの権利を「わがまま」だと捉える人がいる。相互尊重・相互理解が必要である。

こどもたちが「こどもの権利」について知らない。学校教育の中で、学ばない。

物理的な理由で、相談機関に到達できない場合があるため、アウトリーチ型の意見表明権の保障体制が必要である。

こどもに関わることを決める場に、こども自身が参加できていない。こどもが参加することで責任感も芽生える。

こどもの居場所が、学校・家庭・塾の3つに偏ってきている。単級の学校では関係性が崩れてしまった場合に、つらい状態のまま卒業しなければならない。学校とは異なる関わりを持ついろいろな居場所があるよ。

支援学級で過ごしてきたこどもの進学先が限られている。

発達障害や特性のあるこどもに対して、一人ひとりに合わせて支援が行き届いていない。学校教育に余裕がなく、こどもに対するちょっとした工夫や配慮が難しくなっているように思う。教育環境の余裕のなさから、こどもに合わせて支援ができていない。

経済的格差だけでなく、環境的な格差が広がっている。

学校以外での経験や体験の機会提供を学童保育に任せてしまう。

市が取り組むべき施策、連携・協働のイメージについて

虐待は発生予防が重要であり、予期せぬ妊娠を防ぐためにも性教育の実施が必要。

学校での「こどもの権利」教育の実施。

こどもの権利条例の制定。

こどもの居場所づくり（地域やNPOへの委託）。

こどもアドボカシーに関する教職員・市職員への研修。

スクールカウンセラーが使える専用のパソコン・タブレット端末の配備。

格差解消のための学習支援。

リソースセンターの設置。

こどもとこどもを支える支援者の頑張りを見えやすく評価する仕組みづくり。

児童精神科の医療体制の整備（予約が3か月くらいとれない状況）。

保育料無償化（できれば第一子から）。

兄弟姉妹が同じ保育所に通園を希望する場合に可能な限り、同じところに入所できること。

公共のトイレ（市民センターなど）の整備（ユニバーサルデザイン、おむつ替えの設置）

子育て支援センター・児童館を地域に整備。

災害時のこども・子育て、妊婦対応。

外国籍のこどもに対する言語教育の充実。

調理室、特別教室などへの冷房設備の整備。

中学校卒業後も目を向け、うまくいかなくても学びなおすことができる環境や事業の実施。

「こどもまんなか」社会の実現について

大人の考え方を変えていく必要性があり、こどもは、こどもなりの年齢に応じた考え方を持っていて、こどものことを決める際には、こどもの意見が必要である。施策を企画する際に、こどもの意見を言える場があるとよい。

こどもを取り巻く人たちの笑顔が増えるようになってほしい。

子育て世代と地域との関わりを持たせる。

課題を知り、関係機関との情報共有や見守りを行う。

一人ひとりに丁寧に関わることは、多様なこどもに対する多様な環境を構築することであり、丁寧に環境をアセスメントし、必要な支援をし、対話や遊びを通じてこどもの成長を促す。

学校での学び以外に必要な学びにつなぐ。

四日市市こども計画 目次

第1章 こども計画の策定にあたって

- 計画策定の背景と趣旨
- 計画の位置づけ
- 期間・対象

- ✓ 国の動向や少子化・人口減少、社会情勢等の背景や第1期及び第2期計画の評価、「こども計画」策定の必要性を記載。
- ✓ 各種計画との関連性及び計画期間・対象者を定義。

第2章 こども計画の理念と目標

- 基本理念
- 基本方針
- こども・若者施策の重要事項

- ✓ 右図のとおり、第2期計画と同じ構成としつつ、「こども大綱」を踏まえた内容とする。

第3章 こども施策について

- 施策の体系
- 各重要事項の施策
- 重点施策、事業・取組

- ✓ 前章を踏まえ、各重要事項における具体的な施策を記載。
※「第2期計画の主な取り組み」をベースに、特に重要と思われる施策とその他事業を区別し記載。

第4章 計画の推進にあたって

- 計画の数値目標と指標
- 計画の推進体制
- 計画の点検及び評価

- ✓ 前章の「重点施策」を踏まえて数値目標と指標の設定を検討。
- ✓ こどもの意見反映や子ども・子育て会議における評価・見直し方法など点検・評価方法を記載。

第5章 こども・子育て支援事業5年間の実施計画

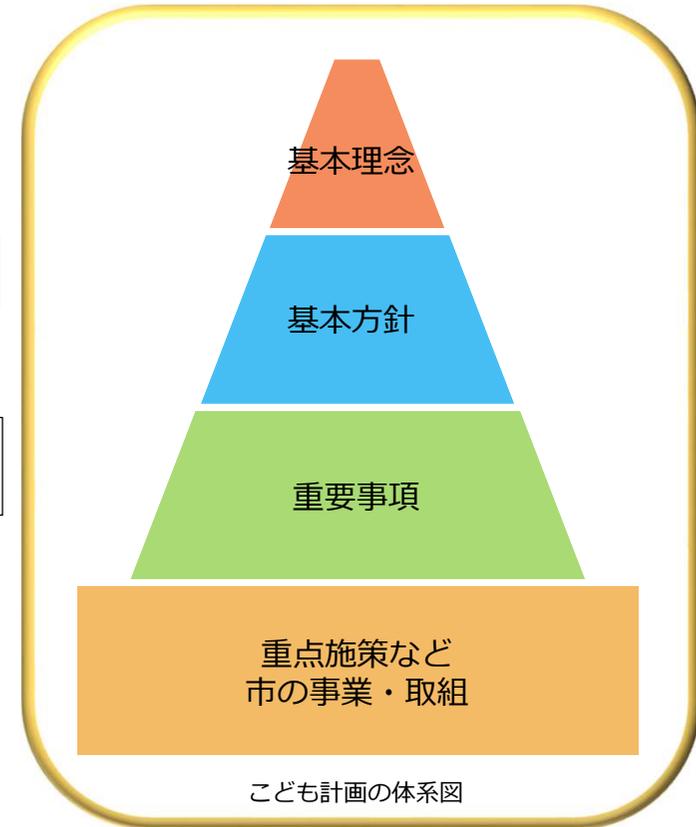
- 教育・保育の量の見込みと確保方策
- 地域こども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

- ✓ 第2期計画を継承し、子ども・子育て支援法に基づく基本方針を踏まえ、実施計画の見直しを行い、計画期間における量の見込み・確保方策を記載。

参考資料

- 本市のこども・子育てを取り巻く状況
- 用語解説、計画策定の過程

- ✓ アンケート調査結果の報告。
- ✓ 統計データ等に基づくこども・子育てを取り巻く状況を記載。



基本理念

子どもと子育てをいざなうまち四日市

基本方針

- 子どもの権利が尊重され、
子ども自身の意見や視点が
生かされた子ども施策
を実行します
- 地域、学校、行政をはじめ
として、子どもに関わる
様々な機関が連携して、
社会全体で子どもの育ち
を支える「こどもまんな
か社会」を実現します
- 支援を必要とする子どもと
子育て当事者に、確実に必
要な支援が届くよう、支援
の充実と支援人材の育成、
切れ目なく支援がつながる
環境整備に取り組みます

現計画から子ども大綱を勘案し、
見直したまたは新たに対象となる主な部分

子ども・若者施策の重要事項

全世代共通

- 子どもの人権尊重
- 遊びや体験、活躍できる機会づくり、生活習慣の形成・定着
- 子ども・若者への切れ目のない保健・医療の提供
- 子どもの貧困対策
- 障害児や医療的ケア児等への支援
- 児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援
- 自殺対策や犯罪から子ども・若者を守る取組

子育てしている方

- 子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- 地域子育て支援、家庭教育支援
- 共働き、共育での推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大
- ひとり親家庭への支援

誕生前から就学前まで

- 切れ目のない保健・医療の確保
- 成長の保障と遊びの充実

学童期（6歳～18歳）・思春期

- 安心して過ごし学ぶことのできる質の高い公教育
- こどもの居場所づくり
- 成年年齢を迎える前に必要となる知識に関する情報提供や教育
- いじめ防止
- 不登校の子どもへの支援

（18歳～）青年期

- 高等教育の修学支援や高等教育の充実、就労支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組
- 結婚を希望する方への支援、結婚に伴う新生活への支援

四日市市子ども計画における重点施策（案）

■ 子どもの人権の尊重と「こどもまんなか」社会の機運醸成

- 新 「こどもまんなか社会」の実現に向けた周知・啓発
- 新 こどもの意見聴き取りの推進

■ 子どもの貧困対策

- ・ こどもの学習支援事業
- ・ 生活困窮者対策の推進
- ・ 四日市市奨学金支給事業

■ 児童虐待防止対策と社会的養護の推進及びヤングケアラーへの支援

- ・ 養育支援訪問事業
- ・ 育児フォローアップ事業
- ・ 支援対象児童等見守り訪問支援事業

■ 遊びや体験の機会づくり、生活習慣の形成・定着

- ・ こどもの芸術体験事業
- ・ 体験型の幼児教育活動の充実
- ・ こどもの生活リズム向上事業

■ 障害児や医療的ケア児等への支援

- ・ 発達障害等早期発見支援事業
- ・ インクルーシブ教育推進事業
- ・ 障害児通所支援事業

■ 自殺対策や犯罪から子ども・若者を守る取組

- ・ いじめSNS相談の充実
- ・ eネット安心心出前講座の充実

■ 地域子育て支援の充実

- ・ 子育て支援センター事業
- ・ 第2子以降子育てレスパイトケア事業
- ・ 子育て短期支援（ショートステイ）事業

■ 共働き、共育での推進

- ・ 仕事と子育ての両立ができる職場環境支援事業
- ・ 父親の子育て参画推進事業

■ 安心して妊娠・出産、育児ができる環境の充実

- ・ 妊産婦・乳幼児健康診査充実事業
- ・ 不妊治療医療費助成事業
- ・ 伴走型相談支援事業
- ・ 多胎児育児支援事業

■ 安心して子どもを預けることができる環境整備

- ・ 保育士等人材確保事業
- ・ 就学前教育・保育施設の再編
- ・ 幼児教育推進事業

■ 多様なニーズに応じたこどもの居場所の創出

- 新 こどもの居場所づくり
- 新 学童保育推進事業
- 新 部活動の地域移行

■ 多様な子どもに対する多様な学びの場の提供

- ・ 「チーム学校」推進事業
- ・ いじめ防止に向けた取組の推進
- ・ 不登校対策推進事業

※公教育関連は「四日市市学校教育ビジョン」にて推進

■ 若者の生活基盤の安定と若者の出会いの創出・結婚の機運醸成

- 新 若者の就労に係る支援
- 新 マリッジサポート事業

※標記の定義
新 現計画に記載がなく、子ども大綱を勘案し、新たに盛り込む施策・取組